

日時 2019年12月21日(土) 13:00~17:00
(開場 / ポスターセッション開始 12:30)

場所 ピアザ淡海 ピアザホール
滋賀県大津市におの浜 1-1-20

入場無料
申込不要
一般歓迎

- 内容
- 第0部 ■ ポスターセッション (1部)
「里山にかかわる多様な研究・取組みのポスター展示」
- 第1部 ■ 主催者挨拶
■ 龍谷大学 学長挨拶
■ 講演
「びわ湖なう 2019 ~びわ湖のこれまで、そしてこれから~」
三和 伸彦 氏 (滋賀県庁琵琶湖環境部 技監)
「東近江市 100年の森づくりビジョンとその実現に向けて」
水田 有夏志 氏 (東近江市市民環境部 審議員)
- 第2部 ■ ポスターセッション (2部)
「里山にかかわる多様な研究・取組みのポスター展示」
- 第3部 ■ 研究報告
「琵琶湖を中心とする自然共生型社会の実現に向けた課題」
- ① 丸山 徳次 氏 (龍谷大学名誉教授・研究フェロー)
 - ② 村澤 真保呂 氏 (社会学部 教授)
 - ③ 伊達 浩憲 氏 (経済学部 教授)
 - ④ 宮浦 富保 氏 (理工学部 教授)
 - ⑤ 中川 晃成 氏 (理工学部 講師)
 - ⑥ 林 珠乃 氏 (理工学部 実験助手)
 - ⑦ 斎藤 菜乃子
(法学部4回生・みらいの環境を支える龍谷プロジェクト代表)
 - ⑧ 牛尾 洋也 氏 (法学部 教授)
- 閉会挨拶

後援：滋賀県、東近江市

お問い合わせ 龍谷大学里山学研究センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
<http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/>
TEL : 075-645-2154



2015年度~2019年度 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
龍谷大学里山学研究センター シンポジウム
琵琶湖を中心とする自然共生型社会の実現
里山学からの発信

琵琶湖を中心とする自然共生型社会の実現 ～里山学からの発信～

「関西の水がめ」と呼ばれる琵琶湖は、古くから水源としてだけでなく、食料や手工業商品、交易手段など、さまざまな仕方で私たちの暮らしを支えてきました。しかし上下水道が普及し、鉄道や自動車、都市生活が一般的になると、私たちは次第に琵琶湖の恩恵を忘れ、日常的な関わりを失っていきました。その結果、琵琶湖には水質問題をはじめ、生物多様性の喪失、外来動植物の繁殖など、さまざまな問題を抱えるようになりました。平成 27 年 9 月に施行された「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」は、そのように失われた私たちの生活と琵琶湖の関係を取り戻し、新たな自然共生型社会の実現への一歩を踏み出す施策として打ち出されたものです。今回のシンポジウムでは、琵琶湖を中心とする自然共生型社会の実現に向けたさまざまな課題を整理し、今後の進むべき方向を考えたいと思います。緑と水と生きものたちの豊かな持続可能社会への指針を見つけるために議論しましょう。

プログラム

- 12:30 開場
第0部
・ポスターセッション (1部)
「里山にかかわる多様な研究・取組みのポスター展示」
- 13:00～14:30 第1部
・主催者挨拶
・龍谷大学 学長挨拶
・講演
三和 伸彦 氏
「びわ湖なう 2019 ～びわ湖のこれまで、そしてこれから～」
水田 有夏志 氏
「東近江市 100 年の森づくりビジョンとその実現に向けて」
- 14:30～15:00 休憩
第2部
・ポスターセッション (2部)
「里山にかかわる多様な研究・取組みのポスター展示」
- 15:00～17:10 第3部
・研究報告・総括
「琵琶湖を中心とする自然共生型社会の実現に向けた課題」
・閉会挨拶

里山学研究センターとは

龍谷大学里山学研究センターは、2004 年度に文部科学省オープンリサーチセンター整備事業として採択されてから、人と自然との共生をめざした「里山学」を掲げ、里山の保全再生に向けたプロジェクト研究に取り組んできました。

2015 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択されたことを契機に琵琶湖の保全・再生に「里山モデル」を活かす政策を模索しています。



【会場アクセス】

- ・京阪電車石場駅より徒歩 5 分
- ※JR でお越しの場合には、膳所駅にて京阪電車の乗り換えが可能です。
- ・JR 大津駅より
京阪近江バスなぎさ公園線
「ピアザ淡海」下車 (約 8 分)
- ・JR 大津駅よりタクシー (5 分)

お問い合わせ

龍谷大学里山学研究センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
<http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/>
 TEL : 075-645-2154